

株式会社 清水鉄工所

小ロット・多品種・短納期で 大型部品加工のニーズに応える

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



西日本最大級の同時5軸加工機

業務内容
他社の追従を許さない
機械加工一貫体制

同社は製缶・機械部門を保有し、通常数社で分担する材料手配や溶接、機械加工を社内で一貫対応する。他社が追従できない「小ロット」、「多品種」、「短納期」の業態特性を打ち出し、量産品ではなく試作品や特注品など単品をメインに受注。多様な業種・規模の企業と信頼関係を築いている。また、CAD/CAMの早期運用に加え、狙いを定めた大型機械設備導入への投資を継続的に展開。産業機械用大型フレームや部品製作に特化した製造システムを構築し、エンジン関連の試作・開発や半導体・液晶関連など受注の対象業種を広げている。

大型加工設備と異種 金属溶接技術で差別化

強み
20tの天井クレーンや3台の大型5面加工機など、中堅企業レベルでは極めて希少な設備を保有。加工するワークサイズも最大3・5m×6・5m、高さ2・3mと広範な対応力を持ち、他社との差別化に強みを発揮する。さらに特殊鋼メーカーでの社長の経験を生かし、従来では困難とされていた銅とステンレスやアルミなど、熱伝導率に差がある異種金属間の溶接技術習得にも着手。清水雅之社長は「小ロット、多品種はもちろん、他社で断られた加工案件の持ち込みも



機械フレームの製缶・機械加工

多く、業界の「駆け込み寺」として期待されている」と語る。

人材育成 「人財」育成に実践的 トレーニングを実施

同社が単品かつ短納期の仕事を優先する理由は、同業他社との差別化に加え、社員にとって「日々、新たな仕事に取り組むことがスキルアップの実践的トレーニングになる」からだ。保有大中小の工作機械には一人一台、マンツーマンで担当させる。新人は先ず小型機を担当、小型機を扱っていた作業員は中型機へ移る。順次、担当機械のスケールアップを図り、大型機を経験した作業員はフォローへ回る。一連作業を熟知することで、全体の采配能力を備えさせる狙いがある。自己研鑽のチャンスを与え、人財の育成に努めている。

成長産業への 業容拡大を視野に入れる

今後の展望
平成26年秋、西日本最大級となる同時5軸の加工機及び5軸対応CAD/CAMシステムを導入。従来機の縦・横に加え、斜めのアタッチメントが追加され加工精度やサイズ、作業効率化などで優位性を発揮する。おもに航空・宇宙産業・新エネルギーなど成長産業を対象に、高合金など特殊な素材を大きなサイズで加工する業態を視野に入れていく。併せて、春には受注条件となるJIS Q 9100（航空宇宙産業向け品質マネジメントシステム規格）認証へのキックオフを予定。既存の設備や加工品種を保持しつつ、新たな分野への業容拡大を狙う。

COMPANY PROFILE

株式会社清水鉄工所

大阪26

ISO 9001
ISO 14001

当社の 歴史

昭和8年、鍛造会社として創業。戦中、戦後の動乱期を経て、昭和38年には造船所を主力顧客とする機械加工会社へ業容転換。昭和54年には本拠を現在地（八尾市）に移し、索道会社向け駆動装置の製缶から機械加工、組み立て、試運転まで一貫して受注する業態に整えました。平成12年には清水雅之社長が事業を継承。CAD/CAM導入や大型5面加工機など差別化を図る設備更新を展開。「小ロット・多品種・短納期」に特化した製缶・機械加工の融合企業として、量産品を避け試作品や別注品の受注をメインに成長を続けています。

社内の製缶・機械加工能力を駆使し、
小ロット・多品種・短納期の大型部品製作に対応します。

代表取締役 清水 雅之さん



■主な事業内容

産業機械用大型部品の
製缶・機械加工一貫製作

■主な取引先（納入先）

液晶・半導体・自動車などの
製造装置メーカー
造船所・製鉄所等の重厚
長大メーカー

住所／〒581-0039
八尾市太田新町
9-194
TEL／072-949-3505
FAX／072-949-3531
創業／昭和8年3月
設立／昭和38年7月
資本金／1,000万円
従業員／13名

<http://shimizu-iw.co.jp>